

看護学科

講義要綱

科目	論理的思考	単位	1	開講時期	1年前期
授業形態	講義	時間	30	必修区分	必修
担当者	中村 孝一				
授業目的	論理的思考力について知り、日常生活や医療現場において論理的に思考・理解・表現するための基礎力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 論理的思考力について、その基礎的な仕組みを知る。 2 資料や新聞記事などを読み、その論理構造を理解したり、批判的にとらえたりする。 3 理由や根拠を明確にしながら自分の考えを表現する。 4 論理的な話し合い（議論）ができるスキルを身につける。 				
授業概要	まず、日常生活においてなぜ論理的な思考が必要か、論理的思考力とはどのようなものかを学ぶ。その上で、学生生活や日常生活等の身近な話題を取り上げ、情報・資料（例えば新聞記事やネット情報など）を収集・分析し、論理的な主張を構築し、文章に書いたり、発表したりする。また、相互に意見を伝え合い、論理的な議論を通して相互理解が深まるような言語活動を展開する。				
授業方法	講義・ロールプレイ				
授業展開	回数	内容	準備等		
	1	論理的思考力とは何かを考える			
	2	日常生活における論理的思考の必要性を知る			
	3	資料を読み、論理的に読解する			
	4	資料を批判的に読む（読解表現力）			
	5	帰納的思考を知る			
	6	帰納的思考で表現する			
	7	三角ロジック（主張・根拠・理由付け）を知る			
	8	三角ロジックを使って考えを伝え合う			
	9	説得力ある議論・討論を行う			
	10	反論を予想して考えを組み立てる			
	11	相手を意識して論理的文章を作成する			
	12	互いの文章を読み合い論理的に批判する			
	13	複数の新聞記事を読み比べる			
	14	ロールプレイによるスピーチ・話し合い			
15	まとめ（論理的思考とコミュニケーション）				
履修条件					
評価方法	受講記録（毎回の授業後のミニレポート）30% 課題レポート40% パフォーマンス評価30%				
テキスト	授業中に適宜、資料を配布				
参考書	授業中に紹介する				
備考					

看護学科

講義要綱

科目	生活行動科学	単位	1	開講時期	1年前期
授業形態	講義	時間	30	必修区分	必修
担当者	坂上 憲光				
授業目的	生活の行動や生命の営みを物理と科学の視点から理解し、看護の方法や医療器具の原理を学ぶ。				
到達目標	看護技術・医療器械器具など看護に必要な物理学について理解する。看護の方法にどのような物理的な原理が含まれているかを学び、看護実践に生かす方法を理解する。				
授業概要	生活の行動や生命の営みを物理と科学の視点を、看護に必要な原理として学んでいく。				
授業方法	講義				
授業展開	回数	内容			準備等
	1	生活行動科学での学習内容、力の加減の基礎			
	2	体位変換の原理、体位系と力の単位、トルクの基礎			
	3	トルクの知識、トルクと体位変換、安定・不安定			
	4	安定・不安定の条件、撃力と骨折、力のつり合い			
	5	牽引力、作用、反作用、力学を人体に適用する			
	6	力学を人体に適用する、摩擦、温度の基礎			
	7	摩擦、温度・熱量・水沈・融解熱、熱の移動			
	8	体熱の産生と喪失のバランス、看護における電気			
	9	圧力の単位、低圧持続吸引器			
	10	低圧持続吸引器の原理、重圧と側圧			
	11	血圧に関する知識、酸素ポンベ			
	12	圧力・ポンベ・疾患、点滴、比重計（密度、比重）			
	13	酸・アルカリ、PH、濃度			
	14	浸透圧、放射線、振り返り			
15	筆記試験及び解説				
履修条件	出席はもちろんである。講義と適宜簡単な実験を行なう。計算問題も行うが、しっかり自分で理解し、確認すること。				
評価方法	授業終了時に筆記試験を行い、出席状況、授業態度等で総合評価をする。				
テキスト	ベッドサイドを科学する 平田雅子 学研マーケティング				
参考書					
備考					

看護学科

講義要綱

科目	情報リテラシー	単位	1	開講時期	1年前期
授業形態	講義	時間	30	必修区分	必修
担当者	大久保 誠也 (12) 東野 定律 (18)				
授業目的	情報科学の基礎および看護に求められる「情報リテラシー」について学ぶ。				
到達目標	情報科学の基礎および看護に求められる「情報リテラシー」をはじめ、WordやExcelといったソフトの使用方法を基本とし、統計ソフトを使用しながらグラフや表作成、統計処理の基本について理解する。				
授業概要	本授業では、コンピュータを用いた情報処理技術やよく用いられる統計手法の考え方や理論について概説する。またコンピュータの統計ソフトを使用しながらグラフや表作成の基本についても理解させるところから、科学的研究方法の基礎を培う。				
授業方法	実際にコンピュータを使用しながら行う。				
授業展開	回数	内容			
	1	はじめに (計算機へ+C10:H24のログイン)			
	2	情報とは			
	3	文章作成の基礎 (PCの基礎とメモ張等による文章作成)			
	4	文章作成の基礎 (MS-Wordによる文章作成)			
	5	表計算の基礎 (MS-Excelによる表計算の基礎)			
	6	表計算の基礎 (MS-WordとMS-Excelを組み合わせた利用)			
	7	パワーポイントを用いたプレゼンテーション			
	8	看護研究の予備知識			
	9	散布図・相関係数			
	10	回帰直線と近似曲線			
	11	正規分布			
	12	統計的推定			
	13	統計的検定			
	14	一元配置分散分析			
15	終了試験・期末まとめ				
履修条件	個人が操作できるコンピューターがある				
評価方法	課題・試験				
テキスト	石村 友二郎 他「Excelで学ぶ医療・看護のための統計入門」東京図書				
参考書					
備考					

看護学科

講義要綱

科目	キャリアデザイン	単位	1	開講時期	1年後期
授業形態	講義・演習	時間	15	必修区分	必修
担当者	塩田 真吾				
授業目的	看護専門職者としての信念をもち、主体的に人生を設計できる力を身につける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャリアをデザインするための基礎的知識を理解する 2 看護を目指すものとしての自己の特徴を知り、自己課題を表現できる 3 自分の強みや課題に照らし、看護学校での生活をデザインできる 4 看護専門職としての自分の将来像を具体的にイメージできる 5 自己の描いたキャリアデザインの実現に向け、身につける力を明らか表現できる 				
授業概要	自らの人生と看護のキャリア形成について、自分の将来をデザインするための基礎的能力を養うための構成とする。看護を目指すものとしての自分自身に向き合い、働くことに対する考え方や希望を明らかにできるよう働く先輩の声を聴きながら、自分の将来像を描く。また、キャリアデザインの実現に向け身につけたい力を同時に学ぶ。				
授業方法	講義、演習				
授業展開	回数	内容			準備等
	1	キャリア形成とは何か			
	2	キャリアデザインの基礎			
	3	社会で必要な力（社会人基礎力）			
	4	自己の分析（自分を知る）			
	5	先輩に学ぶ仕事としてのキャリア			
	6	先輩に学ぶ人生としてのキャリア			
	7	キャリアプランニングシートの作成			
8	自分のキャリアをデザインする（最終評価）				
履修条件	自分の将来とそれを描く理由、どのように歩いていくかについて、意識しながらのぞんで下さい。				
評価方法	最終レポート、毎回の提出物によって評価します。				
テキスト	テキストは授業中に指示します。				
参考書					
備考					

看護学科

講義要綱

科目	生物学	単位	1	開講時期	1年前期
授業形態	講義	時間	30	必修区分	必修
担当者	雪田 聡				
授業目的	生物の営みを細胞レベルで理解しながら、生物とは何かを考え、生命観をもつきっかけとする。				
到達目標	<p>「生きている」とはどういう状態でしょうか？一般的に言われている「正解」はありますが、生物には多くの例外があり、「一般的な正解」が唯一絶対のものではありません。命に係わるお仕事を目指す皆さんにとって、ヒトに限らず多くの生物の在り方を知った上で「生きている」という事を考える、すなわち受講者の皆さんが自分なりの「生命観」を確立することはとても大切な事であり、そのきっかけとなることがこの講義の目標です。そのために、日常の実体験や馴染みのある現象とリンクさせながら生物のもつ精巧さや美しさを紹介し、生物とは何かをともに考える講義をしていきたいと思えます。</p>				
授業概要	生物を細胞レベルで理解するとともに、生物の不思議で巧みな営みな生物のシステムを感じ取り、不思議や疑問に思ったことを大切に、生物とは何か、生きるとは何かを考える。				
授業方法	講義（皆さんの希望で実験等を取り入れます）				
授業展開	回数	内 容			準備等
	1	「生きている」とは何か			
	2	細胞小器官と細胞の形態			
	3	タンパク質の構造と機能 酵素の働き			
	4	代謝概論、好気呼吸における解糖系			
	5	好気呼吸のクエン酸回路と電子伝達系のしくみ、嫌気呼吸と発酵			
	6	メンデルの遺伝法則（優性、分離、独立の法則）の理解			
	7	細胞周期、細胞分裂、染色体の構造の理解			
	8	遺伝子とDNAの理解			
	9	DNAの転写とmRNAの翻訳			
	10	性決定と生殖の多様性			
	11	脊椎動物の初期発生①（受精から原腸陥入まで）			
	12	脊椎動物の初期発生②（原腸陥入から体節形成まで）			
	13	遺伝子改変技術の最先端			
	14	進化と系統			
15	優良試験と解説				

履修条件	生物学は、実際に生物を観察した結果を記述・考察する学問のため、覚えることが多い暗記科目と思われるかもしれませんが、しかし、ただの暗記事項と思わずに、そこに見え隠れする不思議で巧みな生物のシステムをどうか意識して感じ取ってください。そのためにも、講義を聴けばいいという受け身の姿勢ではなく、ちょっとでも不思議に思ったことや気になった事はぜひ気軽に質問してください。必ず即答できるとは限りませんが、どんな質問にもできる限り丁寧に対応します。		
評価方法	筆記試験により評価します。		
テキスト	フォトサイエンス生物図録	鈴木孝仁	数研出版
参考書	基礎からのスタート大学の生物学 系統看護学講座 基礎分野 生物学	道上達男	裳華房 医学書院

看護学科

講義要綱

科目	人間関係論	単位	1	開講時期	1年前期
授業形態	講義・演習	時間数	30	必修区分	必修
担当者	上野 永子				
授業目的	基本的な対人関係に関する理論の学習とグループワーク・ロールプレイを通じた学びから、看護師として人間関係を形成する基盤を学びます。				
到達目標	基本的な対人関係に関する理論を学んだ上で、看護の基本となる対象者との援助的対人関係および、組織における人間関係の形成について理解を深め、看護師としての人間関係を形成する力を養うことを目標とします。 本講義では、人間関係に関する諸理論を学ぶことに加え、ワークやロールプレイを行い、体験的に対人関係について学びます。それらを踏まえて、自分自身の対人パターンを確認すると共に、他者との信頼関係を築くための関わり方について学びます。				
授業概要	本講義では、人間の心と行動についての基礎理論を学び、自分と他者を理解するきっかけとなる自己認識力と対人コミュニケーション力の向上を目指した体験学習を行います。				
授業方法	講義 ワーク ロールプレイ				
授業展開	回数	内容			
	1	エリクソンの心理社会的発達理論 ヒトの人間関係の発達			
	2	自己理解・他者理解			
	3	コミュニケーションとは ①コミュニケーションの機能 ②チャンネル ③コミュニケーション障害			
	4	対人コミュニケーション ①非言語的メッセージ②認知的バイアス			
	5	援助的コミュニケーション 説得的コミュニケーション			
	6	人間関係の理論と研究Ⅰ ①同調実験 ②傍観者効果			
	7	家族への援助 家族と家族システム			
	8	家族援助の実際 家族のアセスメント キューブラロスの死の受容過程			
	9	カウンセリングと心理療法 ①支持的療法 ②来談者中心療法			
	10	③精神力動的療法 ④行動療法 ⑤認知療法 ⑥認知行動療法			
	11	アサーションについて			
12	DESC法のロールプレイ、事例検討				

	13	人間関係の理論と研究Ⅱ ①集団での課題遂行 ②リーダーシップ
	14	コーチング
	15	まとめ・終了試験
履修条件	体験を通じて人間関係の理論やスキルを学び、自己理解・他者理解を深めるために、講義では積極的にワークやロールプレイを取り入れる予定です。ワークやロールプレイに苦手意識を持つ人がいるかもしれませんが、回避せずに挑戦していただきたいと思います。	
評価方法	筆記試験の結果で評価します。	
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論	医学書院
参考書	講義内で、適宜紹介します。	
備考		

看護学科 講義要綱

科目	健康とスポーツ	単位	1	開講時期	1年前期
授業形態	演習	時間	30	必修区分	必修
担当者	月見里 泰世				
授業目的	スポーツを通して仲間との協調性や体力の向上をはかり、心身の健康を保つ。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通し、スキンシップやコミュニケーションで信頼性を養い、仲間意識を育てる。 ・協調性を養い、体力の向上を図る。 ・楽しく運動し、体を動かしたことで気分転換になり、意欲が高まる。 				
授業概要	縄跳び、ドッチボール、リズム体操など全員で行うものやサッカー、ソフトテニス、バドミントン、卓球、インディアカなどチームで行うもの、いろいろな種目の運動を行います。走る、反復横跳び、立幅跳び、閉眼片足立ちなどの運動能力測定もやります。以上のことは、その日の天気、気温を見ながら授業内容(種目)を決めます。暑い日も多いですが、頑張りましょう。				
授業方法	演習				
授業展開	回数	内容			準備等
	1	ラジオ体操 ストレッチ体操 ボール鬼			
	2	ラジオ体操 補強運動 ソフトバレー			
	3	ラジオ体操 補強運動 ボール運動			
	4	ラジオ体操 補強運動 インディアカ			
	5	ラジオ体操 ボール鬼 リレー山越谷越ドッチボール			
	6	ラジオ体操 補強運動 長縄跳び			
	7	ラジオ体操 補強運動 バドミントン			
	8	ラジオ体操 サッカー			
	9	ラジオ体操 補強運動 卓球			
	10	ラジオ体操 補強運動 ソフトテニス			
	11	ラジオ体操 補強運動 バレーボール			
	12	ラジオ体操 補強運動 バスケットボール			
	13	ラジオ体操 補強運動 ウォーキング			
	14	ラジオ体操 補強運動 ダンス			
15	ラジオ体操 補強運動 短縄跳び				

履修条件	遅刻せず休まず出席すること。 体育は好き嫌い（できる、できない）はっきりしてしまう科目ですが体を動かしてもらうのが目的なので、積極的に種目に参加してください。
評価方法	日常の出席状況、授業態度で評価する。種目への真面目な取り組み姿勢で、運動能力ではなく「やる気」、できなくても苦手でも取り組む姿勢、気持ちを重視する。
テキスト	使用しない
参考書	
備考	

看護学科 講義要綱

科目	静岡地域学	単位	1	開講時期	1年前期
授業形態	講義	時間	15	必修区分	必修
担当者	江口 昌克（7） 小二田誠二（4） 須藤 智（4）				
授業目的	地域創造や地域共生を行うために必要な、地域の見方や行動を学ぶ。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡市・清水区の特徴が様々な視点からわかる。 ・これから活動を行う静岡市・清水区の暮らしや地域創生の関わり方がわかる 				
授業概要	地域にある様々な人たちと協働しながら活動している実際を紹介します。これから静岡市・清水区で活動をする皆さん、自分たちの役割や関わり方を一緒に学んでいきましょう。				
授業方法	講義				
授業展開	回数	内容	準備等		
	1	地域創造と資源循環 地域を創造するモノ・コト・ヒト	江口昌克		
	2	地域創造と交流・連携① 文化・芸術の伝承と展開	小二田誠二		
	3	地域創造と交流② 事例：「お茶のまち静岡」の振興			
	4	地域創造と共生・協働① 多文化共生社会とコミュニティ再編	江口昌克		
	5	地域創造と共生・協働② 事例：ダイバーシティのまちづくり			
	6	地域創造と人材育成① 産官学連携と地域プラットフォーム	須藤 智		
	7	地域創造と人材育成② 事例：「I Love しずおか協議会」と大学生			
	8	終了試験	江口昌克		
履修条件					
評価方法	出席状況 試験				
テキスト	使用しない				

参考書	
備考	